

日常の点検方法は？

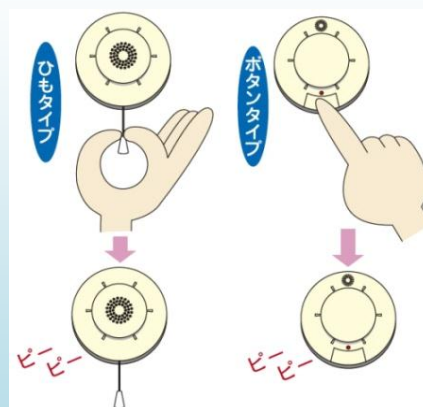
いざ！という時のために……

ご家庭の住宅用火災警報器は大丈夫ですか？

定期的に点検をしましょう

- 半年に1回程度、警報器が正常に作動するかテストしましょう。
次のときは、必ず作動テストしてください。

- 初めて警報器を設置した
- 掃除をした
- 設置場所を変えた
- 長い間留守にした
- 故障や電池切れの疑いがある



お手入れをしましょう

- 警報器にホコリが付くと火災を感知しにくくなります。
汚れが目立ったら、乾いた布でふき取りましょう。
特に、台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れがつくことがあります。布に水やせっけん水を浸し、十分絞ってから汚れをふき取ってください。

こんなときは……

- 音が鳴らない………
電池はきちんとセットされていますか？ 電池切れではありませんか？
それでも鳴らない場合は、故障が考えられますので、取扱説明書をご確認ください。
- 電池切れかな………
電池切れの時には音声でお知らせするか、ピツ…ピツ…と短い音が一定の間隔で鳴りますので、新しい電池に交換してください。

★住宅用火災警報器本体の寿命は、おおむね10年です。設置後、10年を目安に交換をお奨めします。